

## 編集後記

○いつまでも続く残暑も終り、共進会シーズンになりました。共進会が来ると秋色が一段と深くなり、今年も終りに近付いたことがあらためて思い起こされます。9月25日からの国会では、6月に流れた農業基本法に関連する農業関係法案が審議されていますが、ことに畜産に関する法律の通過成立が待たれます。特に家畜導入や、畜産施設に関係のある「農業近代化資金助成法案」、「畜産物の価格安定等に関する法律案」などが通って、はやくすっきりした形で畜産経営が進められるようになってほしいものです。

○先月号は車の特集としましたので、止むを得ずあとへ廻しました若林秀泰氏の「畜産部門における生産共同化について」は今月号で3回目として結論の部分を掲載して完了することになりました。もう1度はじめから目を通していただければ、より共同化の問題点がはっきりするものと思います。

○9月号に登載が間に合いませんでしたが、「草」の関係で、草で伸びる畜産（対談）と県畜産課係からの昭和36年度牧野改良事業一覧を今月号で補足いたします。

○畜産共進会の、記事の詳細は、今月号に間に合いませんでしたので、つぎの11、2月を合併号として、特集とする計画ですので御了承下さい。